

# 現状報告(9統計)

平成28年6月30日  
新旧データ接続検討WG

<9統計のうち無作為抽出による標本調査部分のみ抜粋して整理>

統計調査名	統計調査の概要	周期	調査単位	標本数	標本調査期間	標本交替対象客体が全体に占める割合	新旧標本交替時の断層		標本交替時の平均経過期間<注>	備考
							調整	調整有の場合の手法		
総務省	労働力調査	月次	世帯・世帯員	約4万世帯 約11万人	2ヶ月	1/2	無		1ヶ月	・ベンチマークに用いる基準人口(国勢調査人口)の切替えに伴う結果の断層を、5年前の国勢調査時点まで遡って数値を補正。
	家計調査<二人以上の世帯>	月次	世帯	8,076	6ヶ月	1/6	無		1ヶ月	
	家計調査<単身世帯>			745	3ヶ月	1/3				
財務省	個人企業経済調査(動向編)	四半期	事業所	約3,700	1年	1/4	無		3ヶ月	
	法人企業統計調査(四半期)	四半期	企業	約31,300	2年	1/2	無		1年(H27.4~6)	

注: 標本調査期間(一つの客体に継続して調査する期間)×標本交替対象客体が全体に占める割合、別添イメージ参照。括弧は直近の標本交替月、ただし、毎回交替(1ヶ月、3ヶ月)の調査は記載を省略。

統計調査名	統計調査の概要	周期	調査単位	標本数	標本調査期間	標本交替対象客体が全体に占める割合	新旧標本交替時の断層		標本交替時の平均経過期間<注>	備考
							調整	調整有の場合の手法		
厚生労働省	毎月勤労統計調査(第一種事業所<30人以上>)	月次	事業所	約16,700	2~3年	1/1	有	・過去2~3年に遡って数値を補正し断層を解消(5人以上の数値についても同様)	2~3年(H27.1)	・ベンチマーク(経済センサス基礎調査)の変更に伴う常用雇用指数の断層を、前回のベンチマーク設定時点まで遡って数値を補正。
	毎月勤労統計調査(第二種事業所<5~29人>)			約16,500	18ヶ月	1/3	無		6ヶ月(H28.1)	
経済産業省	商業動態統計調査(乙:調査区調査)	月次	事業所	約13,000	1年	1/6	無		2ヶ月(H28.3)	・他の調査票(甲、丁)と合わせて、標本の前月・当月販売額を「業種×規模」毎に合計し、対前月比を求め、前月の推計販売額に乗ずる方法(比推定)をとっている。 ・ベンチマーク(商業統計調査等)の変更に伴う水準修正を、前回、母集団調査時点まで遡って実施。
	商業動態統計調査(乙:指定事業所調査)				1年	1/1			1年(H27.7)	
国土交通省	建設工事統計調査(建設工事受注動態統計調査)	月次	企業	約12,000	1年	1/1	無		1年(H28.4)	

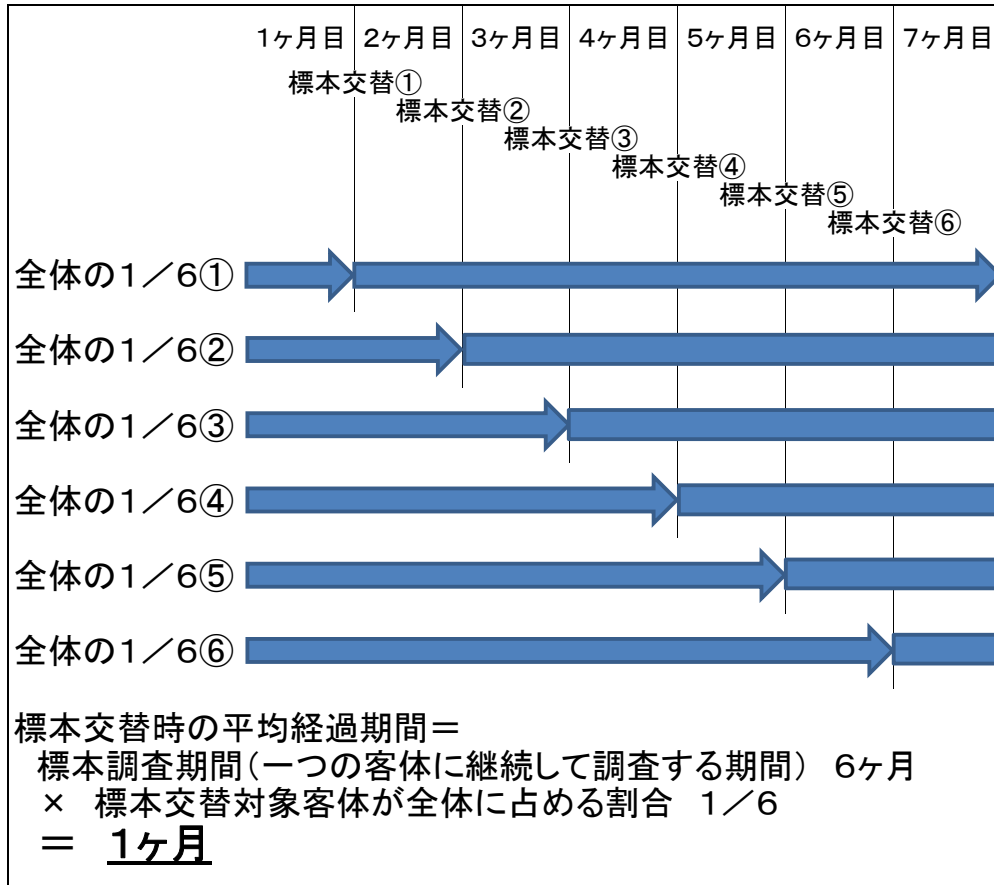
注: 標本調査期間(一つの客体に継続して調査する期間)×標本交替対象客体が全体に占める割合、別添イメージ参照。括弧は直近の標本交替月、ただし、毎回交替(1ヶ月、3ヶ月)の調査は記載を省略。

統計調査名	統計調査の概要	周期	調査単位	標本数	標本調査期間	標本交替対象客体が全体に占める割合	新旧標本交替時の断層		標本交替時の平均経過期間<注>	備考
							調整	調整有の場合の手法		
国土交通省	自動車輸送統計調査(①営業用貨物自動車)	月次	事業所	約2,000両	・事業所の全自動車は1ヶ月 ・一部指定自動車は7日間	1/1	無		1ヶ月	
	自動車輸送統計調査(②家用貨物自動車)		自動車	約9,700両	1ヶ月のうちの7日間	1/1				
	自動車輸送統計調査(③営業用旅客自動車(バス))		自動車	約250両	1ヶ月のうちの3日間	1/1				
	自動車輸送統計調査(④営業用旅客自動車(タクシー))		自動車	約500両	1ヶ月のうちの3日間	1/1				
内航船舶輸送統計調査	内航に従事する船舶についての貨物輸送の実態を明らかにし、我が国の交通政策、経済政策を策定するための基礎資料を作成することを目的とする。	月次	事業者	約180	6ヶ月	1/1	無		6ヶ月(H27.10)	

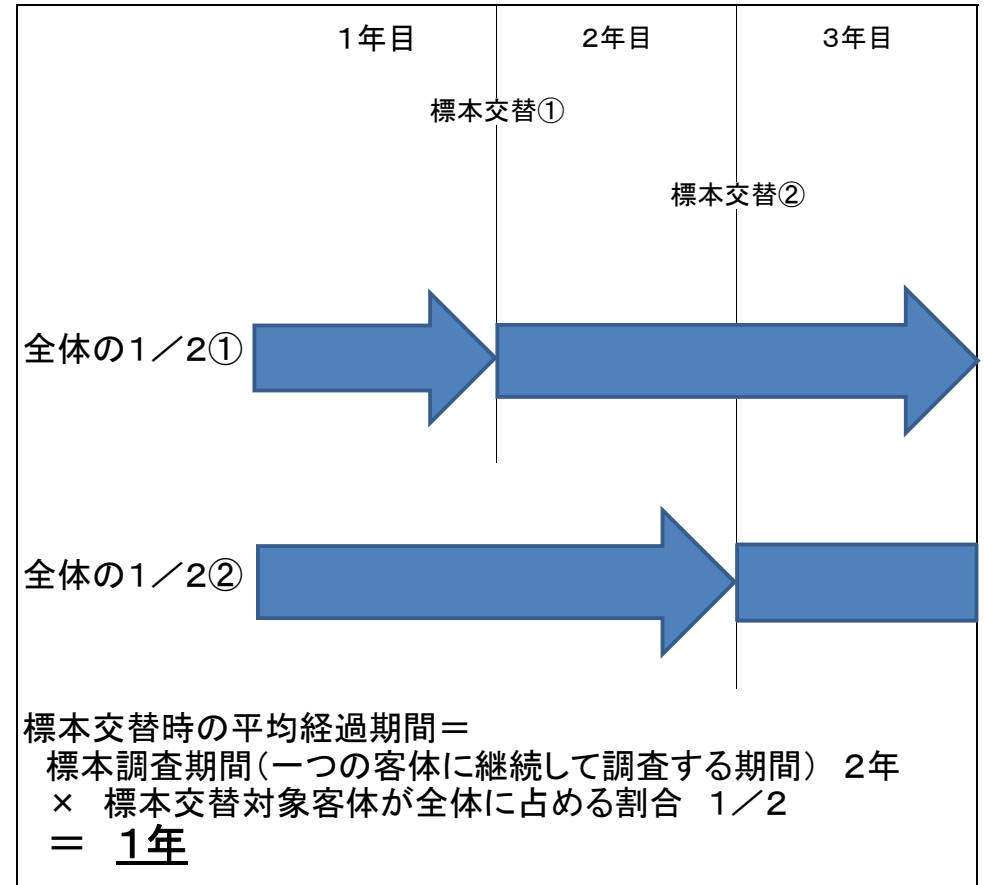
注：標本調査期間(一つの客体に継続して調査する期間)×標本交替対象客体が全体に占める割合、別添イメージ参照。括弧は直近の標本交替月、ただし、毎回交替(1ヶ月、3ヶ月)の調査は記載を省略。

## 標本交替時の平均経過期間(イメージ)

【例1:家計調査<二人以上の世帯>】



【例2:法人企業統計調査(四半期)】



【背景となる考え方】

「標本脱落バイアス」「調査疲れ」といった時間の経過とともに断層を拡大させる要素がある場合、その断層は、①標本調査期間(一つの客体に継続して調査する期間)が長いほど拡大し、②交替対象が全体に占める割合が小さいほど縮小する、と考えられる。これらの要素を総合的に評価するために、①×②により計算した指標。